

平成26年度

玉野市の財務諸表

〈概要版〉

玉野市財政部財政課

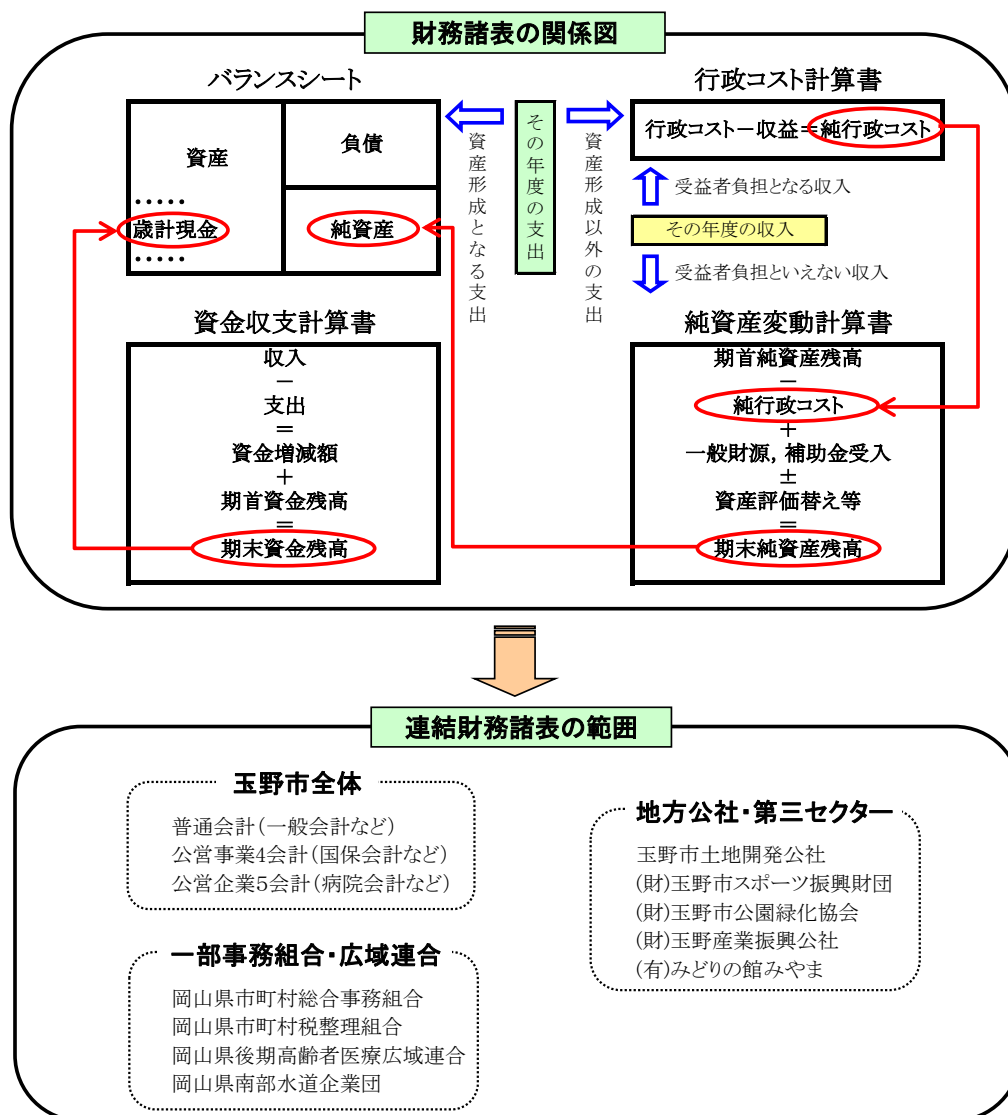
平成28年3月

1 公会計改革の目的

地方公共団体の会計制度は、現金主義・単式簿記とあって、一年間の現金収入と支出を明らかにすることを目的としています。

しかし、この方法では、民間企業のようにどれだけの資産や負債を持っているのかといったストックの状況や現金以外の要素を考慮した実質的なコストや収益を把握することができません。厳しさを増す地方の財政状況を背景に、このような発生主義・複式簿記の手法を取り入れた財務諸表の有益性に対する認識が高まり、平成18年8月、国より平成20年度決算から全国的な基準を定めた財務諸表の作成が要請されました。

玉野市においても、平成20年度決算から「総務省方式改訂モデル」により財務諸表を作成・分析し、市民の皆さんに財政状況をわかりやすく公表するとともに、より効率的な財政運営に努めていきます。



2 普通会計の財務諸表

(1) バランスシートとは

バランスシートとは、市民の皆さんが利用する市の施設（財産）、市の所有する現金や債権、資産形成のために投資された資金などがどのくらいあるかを示したもので、資産・負債・純資産の三つの要素から構成されています。

普通会計バランスシート

(平成27年3月31日現在)

(単位：百万円)

借方		貸方	
資産の部		負債の部	
1. 公共資産	62,281	1. 固定負債	23,338
(1)有形固定資産	61,953	(1)地方債	19,854
(2)売却可能資産	328	(2)長期未払金	0
		(3)退職手当引当金	3,484
2. 投資等	2,477	2. 流動負債	2,623
(1)投資及び出資金	996	(1)翌年度償還予定地方債	2,018
(2)貸付金	128	(2)未払金	0
(3)基金等	1,032	(3)翌年度支払予定退職手当	249
(4)長期延滞債権	386	(4)賞与引当金	356
(5)回収不能見込額	△ 65	負債合計	25,961
		純資産の部	
3. 流動資産	2,496	1. 公共資産等整備国県補助金等	10,282
(1)現金預金	2,381	2. 公共資産等整備一般財源等	46,492
うち歳計現金	781	3. その他一般財源	△ 15,484
(2)未収金	115	4. 資産評価差額	3
うち回収不能見込額	△ 21	純資産合計	41,293
資産合計	67,254	負債・純資産合計	67,254

(2) バランスシートの項目について

【資産の部】

ア 公共資産

公共資産は、「有形固定資産」と「売却可能資産」で構成されています。有形固定資産の評価については、昭和44年度以降の決算統計データを基礎に取得原価で計上しており、また、土地以外については、減価償却による算定を行っています。売却可能資産については、行政サービスの提供に活用されていない資産などを計上し、毎年度末に評価の見直しを行うことになっています。

イ 投資等

投資等は、「投資及び出資金」、「貸付金」、「基金等」、「長期延滞債権」、「回収不能見込額」に分類します。長期延滞債権は、収入未済額のうち1年を超えて回収できていないものを計上し、回収不能見込額は、貸付金や長期延滞債権のうち、回収不能となることが見込まれる額を計上しています。

ウ 流動資産

流動資産は、現金、財政調整基金や減債基金といった「現金預金」と、地方税などの「未収金」に分類します。

【負債の部】

ア 固定負債

固定負債は、「地方債」や「退職手当引当金」などで構成されています。地方債は、地方債残高から翌年度に支払予定の元金償還額を除いた額を計上しており、退職手当引当金は、年度末に全職員（年度末退職者を除く）が自己都合により退職した場合の要支給額から、翌年度支払予定額を除いた額を計上しています。

イ 流動負債

流動負債は、負債のうち1年以内に支払や返済が行われるものことです。「翌年度償還予定地方債」や「翌年度支払予定退職手当」の他、翌年度支給される賞与のうち、当年度勤務分に係る額を「賞与引当金」として計上しています。

【純資産の部】

ア 公共資産等整備国県補助金等

公共資産等の形成に充当された国庫支出金や県支出金の累計額です。有形固定資産の減価償却に合わせて償却を行います。

イ 公共資産等整備一般財源等

公共資産等の形成に充当された一般財源等のことです。

ウ その他一般財源等

公共資産等整備一般財源以外の一般財源等のことです。

エ 資産評価差額

売却可能資産の取得価額と売却価額との差額や、資産の評価替えを行った場合の差額、寄附等により無償で資産を受け入れた場合の評価額などが計上されます。

(3) バランスシートによる財務分析

ア 社会資本形成の世代間負担比率

バランスシートの有形固定資産にあたる部分が社会資本（皆さんの生活に役立つ公共の施設）の整備状況を示します。この資本形成について、純資産に着目すると、これまでの世代によって負担された割合（過去及び現役世代負担比率）を見ることができ、地方債などの負債（借金）に着目すると、将来の世代によって負担する割合（将来世代負担比率）を見ることができます。

・ 過去及び現役世代負担比率（％）＝ 純資産合計÷公共資産合計×100 ＝41,294 百万円÷62,281 百万円＝66.3％ （前年 66.8％（△0.5％））
・ 将来世代負担比率（％）＝地方債残高÷公共資産合計×100 ＝21,870 百万円÷62,281 百万円＝35.1％ （前年 34.3％（＋0.8％））

つまり、今ある資産のうち、約 70％が過去及び現役世代によって造られたものである一方で、約 30％を将来世代に負担してもらう必要があることを示しています。

なお、一般的に、過去及び現役世代将来負担比率は 50％～90％、将来世代負担比率については 15％～40％が平均的な値とされています。

（参考）他市の状況（過去及び現役世代負担比率，将来世代負担比率）

岡山市（平成 25 年度）	………	72.7％	35.0％
津山市（平成 25 年度）	………	67.0％	42.4％
総社市（平成 25 年度）	………	80.1％	30.9％
新見市（平成 25 年度）	………	77.1％	29.7％
備前市（平成 25 年度）	………	87.9％	24.9％

イ 歳入額対資産比率

資産合計を歳入総額で除すことにより、社会資本形成のために何年分の歳入が充当されたかを見ることができます。

・ 歳入額対資産比率＝資産合計÷歳入総額 ＝67,254 百万円÷24,031 百万円＝2.8 年分 （前年 2.9 年分（△0.1 年））

なお、歳入額対資産比率については、一般的に 3.0～7.0 年分が平均的な値とされています。

（参考）他市の状況（歳入額対資産比率）

岡山市（平成 25 年度）	………	3.3 年
津山市（平成 25 年度）	………	2.9 年
総社市（平成 25 年度）	………	4.2 年
新見市（平成 25 年度）	………	5.0 年
備前市（平成 25 年度）	………	4.3 年

(4) 行政コスト計算書とは

行政コスト計算書とは、行政活動のうち福祉活動やごみの収集といった資産形成に結びつかない行政サービスに係る経費とその行政サービスの直接の対価として得られた財源（受益者負担）を対比させたものです。この2つの差が純経常行政コストとなりますが、これは受益者負担以外の市税等で賄わなければなりません。

普通会計行政コスト計算書 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位:百万円)

1. 人にかかるコスト	4,940
(1) 人件費	4,435
(2) 退職手当引当金繰入等	149
(3) 賞与引当金繰入額	356
2. 物にかかるコスト	5,768
(1) 物件費	2,956
(2) 維持補修費	334
(3) 減価償却費	2,478
3. 移転支出的なコスト	9,559
(1) 社会保障給付	5,109
(2) 補助金等	647
(3) 他会計等への支出額	3,592
(4) 他団体への公共資産整備補助金等	211
4. その他のコスト	268
(1) 支払利息	259
(2) 回収不能見込計上額	9
(3) その他行政コスト	0
経常行政コスト	20,535
1. 使用料・手数料	610
2. 分担金・負担金・寄附金	217
経常収益	827
純経常行政コスト(経常行政コスト－経常収益)	19,708

(5) 行政コスト計算書の項目について

ア 経常行政コスト

経常行政コストは、次の4つに分類します。

人にかかるコスト	人件費，退職手当引当金繰入等，賞与引当金繰入額
物にかかるコスト	物件費，維持補修費，減価償却費
移転支出的なコスト	社会保障給付，補助金等，他会計への支出額，他団体への公共資産整備補助金等
その他のコスト	支払利息，回収不能見込計上額，その他行政コスト

イ 経常収益

使用料・手数料，分担金・負担金・寄附金に分類します。

(6) 行政コスト計算書による財務分析

ア 受益者負担比率

行政コスト計算書における経常収益は、いわゆる受益者負担の額であるため、経常収益の行政コストに対する割合を算定することで、受益者負担割合を算定することができます。

$$\begin{aligned} \cdot \text{受益者負担比率 (\%)} &= \text{経常収益} \div \text{経常行政コスト} \times 100 \\ &= 827 \text{ 百万円} \div 20,534 \text{ 百万円} = 4.0\% \quad (\text{前年 } 4.1\% (\Delta 0.1\%)) \end{aligned}$$

なお、受益者負担比率については、一般的に 2%~8%が平均的な値とされています。

(参考) 他市の状況 (受益者負担比率合計)

岡山市 (平成 25 年度)	4.7%
津山市 (平成 25 年度)	4.7%
総社市 (平成 25 年度)	4.5%
新見市 (平成 25 年度)	2.6%
備前市 (平成 25 年度)	2.7%

イ 行政コスト対公共資産比率

行政コストの公共資産に対する比率は、資産を活用するためにどれだけのコストがかけられているか、また、その内容を知る上で参考となる指標です。この比率が高いほど人的サービスの要素が高く、低いほど資産によるサービスの要素が高いと言えます。各行政分野におけるハード、ソフト両面にわたるバランスのとれた財源配分を検討する上でも参考となります。

$$\begin{aligned} \cdot \text{行政コスト対公共資産比率 (\%)} &= \text{経常行政コスト} \div \text{公共資産} \times 100 \\ &= 20,534 \text{ 百万円} \div 62,281 \text{ 百万円} = 33.0\% \quad (\text{前年 } 32.0\% (+1.0\%)) \end{aligned}$$

なお、行政コスト対公共資産比率については、一般的に 10%~30%が平均的な値とされています。

(参考) 他市の状況 (行政コスト対公共資産比率合計)

岡山市 (平成 25 年度)	27.2%
津山市 (平成 25 年度)	23.2%
総社市 (平成 25 年度)	21.9%
新見市 (平成 25 年度)	16.5%
備前市 (平成 25 年度)	22.1%

純資産変動計算書とは

純資産変動計算書とは、バランスシートの純資産の部（現在までの世代が負担した部分）が1年間でどのように変動したかを表すものです。

普通会計純資産変動計算書
(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位:百万円)

期首純資産残高	41,898
純経常行政コスト	△ 19,708
一般財源	14,554
補助金等受入	4,504
臨時損益	59
資産評価替えによる変動額	△ 13
その他	0
期末純資産残高	41,294

(7) 純資産変動計算書の項目について

ア 期首純資産残高

前年度末のバランスシートにおける純資産残高を計上します。

イ 純経常行政コスト

行政コスト計算書における純経常行政コストを計上します。

ウ 一般財源

地方税，地方交付税等を計上します。

エ 補助金等受入

国県支出金を計上します。

オ 臨時損益

災害復旧事業費など経常的ではない特別な事由に基づく損益が発生した場合に計上します。

カ 資産評価替えによる変動額

売却可能資産等の時価評価に伴う増減額を計上します。

(8) 資金収支計算書とは

資金収支計算書とは、歳計現金の出入りの情報を3つの区分に分けて表したものです。他の3つの財務書類と異なり、行政活動を資金の流れからみたもので、現在の会計制度と同じ現金主義によるものです。また、参考として基礎的財政収支（プライマリーバランス）を表しています。

普通会計資金収支計算書 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位:百万円)

1. 経常的収支の部	3,239
2. 公共資産整備収支の部	△ 825
3. 投資・財務的収支の部	△ 2,370
当年度歳計現金増減額	44
期首歳計現金残高	737
期末歳計現金残高	781
(参考)基礎的財政収支 (単位:百万円)	
収入総額	23,294
地方債発行額	2,357
財政調整基金等取崩額	300
支出総額	23,250
地方債元利償還額	2,249
財政調整基金等積立額	403
基礎的財政収支	39

(9) 資金収支計算書の項目について

ア 経常的収支の部

経常的収支の部は、人件費や物件費などの支出と税収や手数料などの収入が計上され、日常の行政活動による資金収支の状況を表します。

イ 公共資産整備収支の部

公共資産整備収支の部は、公共資産の整備などによる支出と、その財源である補助金・借金などによる収入が計上され、いわゆる公共事業に伴う資金の使途とその財源の状況を表します。

ウ 投資・財務的収支の部

投資・財務的収支の部は、出資、貸付、基金の積み立て、借金の返済などによる支出とその財源である補助金、借金、貸付金元金の回収などの収入が計上され、投資活動や借金の返済による資金の出入りの状況を表します。

エ 期末歳計現金残高

当年度の資金収支の増減額に、期首歳計現金(前年度からの繰越金)を加えた額が、期末歳計現金残高となり、バランスシートの歳計現金と一致します。

(10) 資金収支計算書による財政分析

ア 基礎的財政収支（プライマリーバランス）

基礎的財政収支とは、地方債による収支と年度間の財政調整機能である財政調整基金や減債基金による収支を除いた歳入と歳出のバランスを見るものです。これが、ゼロかプラスであれば、その年の市民生活に必要な支出を借金に頼らずにその年の税金などで賄えている状態であると言えます。本市の場合、一昨年度は対前年度比1億6千4百万円のプラスであり、昨年度も、基金の取り崩し等の影響により対前年度比1億2千5百万円マイナスの3千9百万円となっています。

(参考) 他市の状況

岡山市（平成25年度）	△85百万円
津山市（平成25年度）	△11,691百万円
総社市（平成25年度）	954百万円
新見市（平成25年度）	4,109百万円
備前市（平成25年度）	875百万円

(11) 市民一人当たりの財務諸表

普通会計の財務諸表を、平成26年度末時点の住民基本台帳人口62,474人で割った市民一人当たりの財務4表を作成しました。

一人当たりバランスシート

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位:千円)

1. 公共資産	997
2. 投資等	40
3. 流動資産	40
うち歳計現金	12
資産合計	1,077
1. 固定負債	374
2. 流動負債	42
負債合計	416
純資産合計	661
負債・純資産合計	1,077

一人当たり行政コスト計算書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位:千円)

1. 人にかかるコスト	79
2. 物にかかるコスト	92
3. 移転支出的なコスト	153
4. その他のコスト	4
経常行政コスト	328
1. 使用料・手数料	10
2. 分担金・負担金・寄附金	3
経常収益	13
純経常行政コスト	315

一人当たり資金収支計算書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位:千円)

1. 経常的収支額	52
2. 公共資産整備収支額	△13
3. 投資・財務的収支額	△38
当年度歳計現金増減額	1
期首歳計現金残高	12
期末歳計現金残高	13

一人当たり純資産変動計算書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位:千円)

期首純資産残高	671
純経常行政コスト	△315
一般財源	232
補助金等受入	72
臨時損益	1
資産評価替えによる変動額	0
その他	0
期末純資産残高	661

《参考資料》

1. バランスシート経年比較

(単位:百万円)

	平成25年度	平成26年度	対前年度増減
1. 公共資産	62,734	62,281	△ 453
2. 投資等	2,408	2,477	69
3. 流動資産	2,615	2,496	△ 119
うち歳計現金	737	781	44
資産合計	67,757	67,254	△ 503
1. 固定負債	23,237	23,337	100
2. 流動負債	2,622	2,623	1
負債合計	25,859	25,960	101
純資産合計	41,898	41,294	△ 604
負債・純資産合計	67,757	67,254	△ 503

2. 一人当たりバランスシート他市との比較

(単位:千円)

	玉野市 (平成26年度)	岡山市 (平成25年度)	津山市 (平成25年度)	総社市 (平成25年度)	新見市 (平成25年度)	備前市 (平成25年度)
1. 公共資産	997	1,162	1,564	1,428	3,666	1,873
2. 投資等	40	104	160	145	172	175
3. 流動資産	40	48	60	84	235	137
うち歳計現金	12	13	17	14	68	22
資産合計	1,077	1,314	1,784	1,657	4,073	2,185
1. 固定負債	374	418	677	462	1,105	492
2. 流動負債	42	52	60	52	140	46
負債合計	416	470	737	514	1,245	538
純資産合計	661	844	1,047	1,143	2,828	1,647
負債・純資産合計	1,077	1,314	1,784	1,657	4,073	2,185

3. 行政コスト計算書経年比較

(単位:百万円)

	平成25年度	平成26年度	対前年度増減
1. 人にかかるコスト	4,910	4,940	30
2. 物にかかるコスト	5,824	5,768	△ 56
3. 移転支出的なコスト	9,014	9,558	544
4. その他のコスト	306	268	△ 38
経常行政コスト	20,054	20,534	480
1. 使用料・手数料	556	610	54
2. 分担金・負担金・寄附金	269	217	△ 52
経常収益	825	827	2
純経常行政コスト	19,229	19,707	478

《参考資料》

4. 一人当たり行政コスト計算書他市との比較

(単位:千円)

	玉野市 (平成26年度)	岡山市 (平成25年度)	津山市 (平成25年度)	総社市 (平成25年度)	新見市 (平成25年度)	備前市 (平成25年度)
1. 人にかかるコスト	79	62	69	66	118	79
2. 物にかかるコスト	92	82	94	100	247	127
3. 移転支的的なコスト	153	165	193	142	228	201
4. その他のコスト	4	7	7	5	14	7
経常行政コスト	328	316	363	313	607	414
1. 使用料・手数料	10	10	8	7	11	8
2. 分担金・負担金・寄附金	3	5	9	7	5	3
経常収益	13	15	17	14	16	11
純経常行政コスト	315	301	346	299	591	403

5. 純資産変動計算書経年比較

(単位:百万円)

	平成25年度	平成26年度	対前年度増減
期首純資産残高	42,379	41,898	△ 481
純経常行政コスト	△ 19,230	△ 19,708	△ 478
一般財源	14,615	14,554	△ 61
補助金等受入	4,246	4,504	258
臨時損益	△ 97	59	156
資産評価替えによる変動額	△ 15	△ 13	2
その他	0	0	0
期末純資産残高	41,898	41,294	△ 604

6. 一人当たり純資産変動計算書他市との比較

(単位:千円)

	玉野市 (平成26年度)	岡山市 (平成25年度)	津山市 (平成25年度)	総社市 (平成25年度)	新見市 (平成25年度)	備前市 (平成25年度)
期首純資産残高	671	839	1,082	1,126	2,767	1,616
純経常行政コスト	△ 315	△ 301	△ 346	△ 299	△ 591	△ 403
一般財源	232	227	262	236	561	344
補助金等受入	72	79	102	82	92	90
臨時損益	1	0	△ 53	1	△ 2	0
資産評価替えによる変動額	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	△ 3	1	0
期末純資産残高	661	844	1,047	1,143	2,828	1,647

《参考資料》

7. 資金収支計算書経年比較

(単位:百万円)

	平成25年度	平成26年度	対前年度増減
1. 経常的収支額	3,225	3,239	14
2. 公共資産整備収支額	△ 853	△ 825	28
3. 投資・財務的収支額	△ 2,435	△ 2,371	64
当年度歳計現金増減額	△ 63	44	107
期首歳計現金残高	800	737	△ 63
期末歳計現金残高	737	781	44

8. 市民一人当たり資金収支計算書他市との比較

(単位:千円)

	玉野市 (平成26年度)	岡山市 (平成25年度)	津山市 (平成25年度)	総社市 (平成25年度)	新見市 (平成25年度)	備前市 (平成25年度)
1. 経常的収支額	52	76	109	79	276	143
2. 公共資産整備収支額	△ 13	△ 18	△ 21	△ 17	△ 34	△ 19
3. 投資・財務的収支額	△ 38	△ 54	△ 87	△ 63	△ 243	△ 123
当年度歳計現金増減額	1	4	2	△ 1	0	2
期首歳計現金残高	11	9	15	15	68	20
期末歳計現金残高	12	13	17	14	68	22

3 市全体の財務諸表

市では、普通会計で行っている事業の他にも、病院事業や水道事業、国民健康保険事業、介護保険事業など様々な事業を行っています。市の財政は普通会計のみで成り立っている訳ではないため、玉野市全体のストック情報やコスト情報を把握するためには、特別会計や企業会計までを対象とした市全体の財務諸表を作成する必要があります。

なお、普通会計から各会計への繰出金などの内部取引については、相殺消去しています。

市全体のバランスシート

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位:百万円)

1. 公共資産	102,570
2. 投資等	2,922
3. 流動資産	7,766
うち資金	6,728
4. 繰延勘定	0
資産合計	113,258
1. 固定負債	40,811
2. 流動負債	5,406
負債合計	46,217
純資産合計	67,041
負債・純資産合計	113,258

市全体の行政コスト計算書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位:百万円)

1. 人にかかるコスト	7,091
2. 物にかかるコスト	9,067
3. 移転支出的なコスト	21,975
4. その他のコスト	13,666
経常行政コスト	51,799
1. 使用料・手数料	610
2. 分団金・負担金・寄付金	6,278
3. 保険料	3,384
4. 事業収益	16,401
5. その他特定行政サービス収入	755
6. 他会計補助金等	0
経常収益	27,428
純経常行政コスト	24,371

市全体の資金収支計算書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位:百万円)

1. 経常的収支額	3,919
2. 公共資産整備収支額	△ 1,275
3. 投資・財務的収支額	△ 2,507
翌年度繰上充用金増減額	0
当年度資金増減額	137
期首資金残高	6,591
期末資金残高	6,728

市全体の純資産変動計算書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位:百万円)

期首純資産残高	73,480
純経常行政コスト	△ 24,371
一般財源	14,495
補助金等受入	8,907
臨時損益	103
資産評価替えによる変動額	△ 12
無償受贈資産受入	0
その他	△ 5,561
期末純資産残高	67,041

4 連結財務諸表

連結財務諸表は、市全体の会計の他に連携して行政サービスを実施している一部事務組合や地方公社、第三セクターなどを含め、一つの行政サービス実施主体とみなして作成したものです。

なお、市から連結対象団体への出資金などの内部取引については、相殺消去しています。

連結バランスシート

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位:百万円)

1. 公共資産	106,217
2. 投資等	3,329
3. 流動資産	10,520
うち資金	8,429
4. 繰延勘定	2
資産合計	120,068
1. 固定負債	42,742
2. 流動負債	5,927
負債合計	48,669
純資産合計	71,399
負債・純資産合計	120,068

連結行政コスト計算書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位:百万円)

1. 人にかかるコスト	7,306
2. 物にかかるコスト	9,540
3. 移転支出的なコスト	30,327
4. その他のコスト	14,094
経常行政コスト	61,267
1. 使用料・手数料	611
2. 分団金・負担金・寄付金	10,347
3. 保険料	3,384
4. 事業収益	17,575
5. その他特定行政サービス収入	781
6. 他会計補助金等	0
経常収益	32,698
純経常行政コスト	28,569

連結資金収支計算書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位:百万円)

1. 経常的収支額	4,703
2. 公共資産整備収支額	△ 1,413
3. 投資・財務的収支額	△ 3,106
翌年度繰上充用金増減額	0
当年度資金増減額	184
期首資金残高	8,245
期末資金残高	8,429

連結純資産変動計算書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位:百万円)

期首純資産残高	77,620
純経常行政コスト	△ 28,569
一般財源	14,524
補助金等受入	13,300
臨時損益	103
資産評価替えによる変動額	69
無償受贈資産受入	0
その他	△ 5,648
期末純資産残高	71,399

《参考資料》

9. 連結バランスシート経年比較

(単位:百万円)

	平成25年度	平成26年度	対前年度増減
1. 公共資産	112,960	106,217	△ 6,743
2. 投資等	3,880	3,329	△ 551
3. 流動資産	10,468	10,520	52
うち資金	8,245	8,429	184
4. 繰延勘定	5	2	△ 3
資産合計	127,313	120,068	△ 7,245
1. 固定負債	44,395	42,742	△ 1,653
2. 流動負債	5,603	5,927	324
負債合計	49,998	48,669	△ 1,329
純資産合計	77,315	71,399	△ 5,916
負債・純資産合計	127,313	120,068	△ 7,245

10. 一人当たり連結バランスシート他市との比較

(単位:千円)

	玉野市 (平成26年度)	岡山市 (平成25年度)	津山市 (平成25年度)	総社市 (平成25年度)	新見市 (平成25年度)	備前市 (平成25年度)
1. 公共資産	1,701	2,003	2,671	2,174	5,308	3,414
2. 投資等	53	85	182	184	188	272
3. 流動資産	168	103	126	125	301	336
うち資金	135	89	75	115	293	297
4. 繰延勘定	0	0	0	0	0	6
資産合計	1,922	2,191	2,979	2,483	5,797	4,028
1. 固定負債	684	823	1,197	739	1,772	1,246
2. 流動負債	95	102	104	79	188	120
負債合計	779	925	1,301	818	1,960	1,366
純資産合計	1,143	1,266	1,678	1,665	3,837	2,662
負債・純資産合計	1,922	2,191	2,979	2,483	5,797	4,028

11. 連結行政コスト計算書経年比較

(単位:百万円)

	平成25年度	平成26年度	対前年度増減
1. 人にかかるコスト	6,933	7,306	373
2. 物にかかるコスト	10,291	9,540	△ 751
3. 移転支出的なコスト	29,475	30,327	852
4. その他のコスト	11,841	14,094	2,253
経常行政コスト	58,540	61,267	2,727
1. 使用料・手数料	557	611	54
2. 分団金・負担金・寄付金	10,337	10,347	10
3. 保険料	3,437	3,384	△ 53
4. 事業収益	16,467	17,575	1,108
5. その他特定行政サービス収入	417	781	364
6. 他会計補助金等	0	0	0
経常収益	31,215	32,698	1,483
純経常行政コスト	27,325	28,569	1,244

《参考資料》

12. 一人当たり連結行政コスト計算書他市との比較

(単位:千円)

	玉野市 (平成26年度)	岡山市 (平成25年度)	津山市 (平成25年度)	総社市 (平成25年度)	新見市 (平成25年度)	備前市 (平成25年度)
1. 人にかかるコスト	117	83	86	73	155	167
2. 物にかかるコスト	153	126	160	164	333	294
3. 移転支的的なコスト	484	402	428	363	538	452
4. その他のコスト	226	22	24	16	39	33
経常行政コスト	980	633	698	616	1,065	946
1. 使用料・手数料	10	10	8	8	11	9
2. 分団金・負担金・寄付金	166	120	134	122	192	175
3. 保険料	54	46	42	43	47	50
4. 事業収益	281	56	45	33	61	175
5. その他特定行政サービス収入	12	2	2	1	3	8
6. 他会計補助金等	0	0	0	1	0	0
経常収益	523	234	231	208	314	417
純経常行政コスト	457	399	467	408	751	529

13. 連結純資産変動計算書経年比較

(単位:百万円)

	平成25年度	平成26年度	対前年度増減
期首純資産残高	76,742	77,620	878
純経常行政コスト	△ 27,325	△ 28,569	△ 1,244
一般財源	14,644	14,524	△ 120
補助金等受入	13,385	13,300	△ 85
臨時損益	△ 182	103	285
資産評価替えによる変動額	27	69	42
無償受贈資産受入	8	0	△ 8
その他	16	△ 5,648	△ 5,664
期末純資産残高	77,315	71,399	△ 5,916

14. 一人当たり連結純資産変動計算書他市との比較

(単位:千円)

	玉野市 (平成26年度)	岡山市 (平成25年度)	津山市 (平成25年度)	総社市 (平成25年度)	新見市 (平成25年度)	備前市 (平成25年度)
期首純資産残高	1,242	1,254	1,647	1,656	3,769	2,618
純経常行政コスト	△ 457	△ 399	△ 467	△ 408	△ 751	△ 529
一般財源	232	226	267	236	561	345
補助金等受入	213	187	231	184	259	230
臨時損益	2	△ 5	△ 2	1	△ 2	△ 6
資産評価替えによる変動額	1	0	0	△ 3	1	0
無償受贈資産受入	0	0	0	1	0	0
その他	△ 90	3	2	△ 1	0	2
期末純資産残高	1,143	1,266	1,678	1,666	3,837	2,660

《参考資料》

15. 連結資金収支計算書経年比較

(単位:百万円)

	平成25年度	平成26年度	対前年度増減
1. 経常的収支額	5,347	4,703	△ 644
2. 公共資産整備収支額	△ 1,312	△ 1,413	△ 101
3. 投資・財務的収支額	△ 3,408	△ 3,106	302
翌年度繰上充用金増減額	0	0	0
当年度資金増減額	627	184	△ 443
期首資金残高	7,618	8,245	627
期末資金残高	8,245	8,429	184

16. 市民一人当たり連結資金収支計算書他市との比較

(単位:千円)

	玉野市 (平成26年度)	岡山市 (平成25年度)	津山市 (平成25年度)	総社市 (平成25年度)	新見市 (平成25年度)	備前市 (平成25年度)
1. 経常的収支額	75	97	145	88	271	174
2. 公共資産整備収支額	△ 23	△ 19	△ 25	△ 20	△ 37	△ 27
3. 投資・財務的収支額	△ 50	△ 68	△ 98	△ 60	△ 204	△ 176
翌年度繰上充用金増減額	0	0	0	0	0	0
当年度資金増減額	3	9	22	8	30	△ 30
期首資金残高	132	80	53	107	263	181
期末資金残高	135	89	75	115	293	151